

I r i s

トピックス

- Road to Doctor …… P 2
- 東日本大震災 FW に参加して …… P 3



石巻市
震災遺構
大川小学校

医師からの メッセージ

名南病院内科 高木 万起子



みなさん、こんにちは。名南病院で内科医として働いている高木万起子です。

今年の夏も大変暑かったですが、みなさんはいかが過ごされたでしょうか。

今年も名南病院には高校生の方々が見学に来られました。みな医師になる目標をしっかりと

持ちっていてキラキラ輝いているなあ、と私の方が励まされました。

そんな私と言うと、高校生の時は医療系の道に進むとは露ほども思っていませんでした。気が小さく血を見るだけで倒れてしまうタイプだったこと、またコンピューターが好きで工学部に進みたいと思っていたからです。ところが念願の工学部に合格したのも束の間、家族の意向で薬学部に進むことになり卒業後は一般企業に就職しました。医療とは関係

ない仕事をしたいと思って入った会社でしたが、皮肉にも与えられた仕事が皮膚科学に関するものでした。学会発表や論文投稿の機会もいただき、医学的な知識の必要性を実感するようになり再受験を決意、33歳で医師となりました。

ではなぜ民医連に就職したのか。漠然と皮膚科医を目指していましたが、恩師から「救急はできなあかん。」と言われ、民医連の研修なら救急を含む幅広い研修が可能であったこと、また在学中に出産し小さな子どもがいたことも大きかったです。

初期研修後は内科医になり今日に至ります。医師になるまでの不安、医師になってからの悩みも人並にあっただと思いますが、マイペースでつつがなく仕事を続けてこられたのも民医連にいたからではないかと思っています。小さかった子どもは今年社会人となり、私も新たな一歩を踏み出しました。学生さんや若い先生方から色々な知識をもらいながら、これからも日々精進していけたらと思っています。

Road to Doctor



総合病院南生協病院 初期研修医2年目 伊藤 裕一郎

その2



前半分は前回 Vol.38を
ご参照ください。

Q5 大学で楽しかったこと、大変だったことは何でしたか？

私は高校まで部活と勉強しかしてこなかったと思います。大学は自分で勉強も部活も遊びもバイトも自由に選ぶことができます。医学の勉強はしなければいけないけれど、どこまで勉強するかを選択できます。医学の勉強以外にも社会的な問題に関して勉強したり、部活やバイトを頑張ったり、キャンプや遊園地で遊んだり。今までにないくらい自由に自分のやりたいことを選択できて人生で一番楽しい6年でした。

ただやっぱり医師になるには勉強は必須で、国家試験もあるので、それに受かるようには勉強しなければならないです。高校までは学校の先生や塾の先生が勉強の仕方を教えてくれたが、大学では教えてくれる先生が少ないことが多いです。自由に時間を使える分、自分で自分を律しなければいけない部分があり、勉強の配分を間違えると医師になれなくなってしまふからそこが大変だと思います。

医学の勉強に力を入れれば入れるだけ、実際に働き出したらそれを実践できる機会が待っています。大学は時間がたくさんあるから、少しでも自分を律して勉強にさく時間を増やせばと個人的には思うこともあります。スタートが遅れてしまった分は、働きながら取り返して行こうと、現在勉強に勤しんでいます。

Q6 医師になって大変なこと（学生の時思ってたことと違うこと）はありますか？

忙しい！日中は仕事があつて、夜も当直とかで働いて、ほとんど寝る間も無く次の日の仕事に行ったりすることもあります。救急外来では寝不足なのに患者さんがたくさん待っていて、一人一人に時間をかけられなかったりします。それでいて一歩間違えると人の生死に関わることもあるから本当に怖い仕事だと思います。

あとドラマとかで見るよりも地味な事務作業とかが多く、一日中パソコンの前に座ってるなって感じる日もあります。

同じ医師という仕事の中でも自分の選ぶキャリアによって働き方も変わってくるが、楽な仕事ではないと思います。

Q7 先生は今後どんな医師になっていきたいですか？

患者さんに寄り添い、その人が幸せに生きられる手助けができるような医師になりたいです。その人が自分らしく生きられるように、いろいろな選択肢を提示することができるようになりたい。そのためにはたくさん勉強してしっかりとした知識を身につけ、周りの人たちと協力して少しずつ成長していきたいと思っています。

災害医療フィールドワーク

山口大学 5年
西尾 絵理



2023年9/16、9/17に宮城県で行われた愛知民医連主催の、災害医療を学ぶフィールドワークへ参加いたしました。

1日目は東日本大震災で被災された坂総合病院にて、郷古医師から災害医療についての講演への参加、また災害復興住宅である鶴ヶ谷公営住宅にて入居者の方からお話を伺いました。2日目は児童74名、教員10名が津波により亡くなられた石巻市立大川小学校と、みやぎ東日本大震災津波伝承館を見学いたしました。この研修を通して感じたのは、災害発生前に備えておく重要性です。

災害発生時、状況が理解できない可能性が高く、何が起きているかわからない状態で自分が何をしなければならぬのか判断せざるを得ません。坂総合病院では震災の5年前より大事故や大災害に備えた訓練を始め、東日本大震災が発生した際、迅速に災

害対策本部を立ち上げ、早急にトリアージに切り替えられたことは日頃の訓練の成果であったが、同時に実際の災害時には想定外のことも起き、訓練は訓練でしかないと感じられたというお話が印象に残りました。また、大川小や鶴ヶ谷公営住宅、津波伝承館では震災、津波発生直後のお話をお聞きし、大川小での被害は人災面での影響が大きいことを感じ、前もって自分が住んでいる土地がどのような性質を持ったところで、有事の際にはどこに逃げるべきか、特に学校などの公共施設は前もって備えておくべきであると考えました。

今回の研修を通して、有事の際、自分は被災者であると同時に、医師であり、医師として何ができるのかを深く考えました。まだ本質的な答えは出ていませんが、この二日間は災害医療について考える良いきっかけになりました。

(第一面に東日本「震災医療」フィールドワーク 写真)

このドクター漫画が
おススメ!!

医師 棚橋 千里
総合病院南生協病院
病理医
名市大卒



パナケイアの手

松本 救助 白泉社

パナケイアとはギリシャ神話にでてくる“癒し”をつかさどる女神のこと。医術をつかさどる神アポロンの孫なんだとか。

この物語は、アメリカの大学で世界最年少で医師となった15歳の日本人少女がおり、彼女はパナケイアの手を持つといわれていた、というところから始まります。その少女は1年ほどで突然医学会から姿を消し、その後の消息はわかりません。

この漫画の主人公は、ポンコツ研修医の田宮誠二。情熱だけはあるのですが、空回りしがち。手術室では毎回ゲロを吐くし、当直もビクビク。そんな彼は、パン作りが趣味の女子高校生・いくみに出会います。指導医に「外科に向いてないよ」と言われ、自信を無くしていた田宮ですが、いくみの作るパンに励まされます。

ある日の当直、交通事故で腕を切断された患者が搬送され、パニックになる田宮。偶然その場に居合わせたいくみが、田宮に適切な指示をし、完璧な手術をします。いくみこそ、パナケイアの手少女だったのです。しかし、

いくみにはアメリカの医師の免許はあっても、日本の医師免許はありません。腕をつなぐ手術は田宮がやったことになっています。いくみがアメリカを去った理由も深刻な何かがありそうです。

田宮はお調子者で、医療の知識も技術もまだまだ未熟ですが、人に寄り添うことがとても自然にできる性格の持ち主です。反面、医学知識や技術は高いけれどコミュニケーションに自信がないいくみには、田宮こそが名医になれる人だと感じるのです。

性格も知識も技術も、全部完璧な人間はそんなにいません。でも、自分の課題をひとつずつ乗り越えながら、理想の医師に近づけばいいんだと、ちょっとホッとさせてくれる物語です。私は研修医の心理カウンセリングを担当していますが、研修はだれにとってもストレスフルで辛く、自信もやる気もなくなることがあります。そんな時にこの漫画はお勧めです。みなさんも、受験勉強で疲れた時などに、ぜひ読んでみてくださいね。

医学部医学科進学をめざす受験生を全力応援

参加費
無料

模擬面接会

愛知民医連では、例年医学部医学科進学を目指す受験生対象に「模擬面接会」を実施しています。

医学部入試に欠かせない面接はどうしても緊張してしまうと思いますが、本番さながらの環境、参加学生、それぞれの志望校で過去に実際にあった質問事項で練習ができると毎年人気のある企画です。

今年も11月から12月にかけて「模擬面接会」を予定しています。企画内容は、「身だしなみ・マナー講座」「模擬面接会（個人・集団）」「医師・医学生との交流」を予定しています。

以前に参加した学生からは、「自分が面接でどれくらいできるのか知れた。マナーから丁寧に教えていただけてよかった。」「面接後にフィードバックが得られたのも参考になった。」「面接体験で緊張感を持ってでき、具体的に面接を実感できてよかった。」などの感想をいただいています。

医学部医学科の受験の前にぜひ参加してみませんか。
お待ちしております。

申し込みの方法は日程が決定次第、愛知民医連ホームページ上でお知らせします

愛知民医連主催 医学部医学科 受験対策企画

奨学生 になって、一緒に医療のこと
社会のこと学びませんか?!

愛知民医連奨学金制度のご案内

対象：医学部医学科生（医師をめざす方）

将来、地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療を私たち民医連とともにめざし、担っていく意思のある医学生さんを対象に愛知民医連は奨学金制度を準備しております。

奨学生になると

医学生同士の全国的な交流や学びの場を持つことができます。

充実した学生生活のために、
愛知民医連奨学金制度をお勧めします。

ご案内

Irisの
感想を送って

図書カードを
もらっちゃおう♪

Iris Vol.39秋号、いかがでしたでしょうか？

よりよい紙面作成のため、感想をお寄せください。

感想文を送ってくださった方に、図書カードをお送りいたします。

（応募者多数の場合は抽選になります。）締め切り：2023年12月31日

応募は右に記載の
QRコードからすぐにできます。



地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療をめざして
愛知県民主医療機関連合会（愛知民医連）
協立総合病院・総合病院南生協病院・北病院・名南病院・千秋病院

事務局：〒456-0006

名古屋市中区熱田区沢下町9-3 労働会館 本館3F

TEL : 0120-193-666 (フリーダイヤル)
052-883-6997 (代表)

FAX : 052-889-2112

Email : aichiminiren@aichiminiren.jp

URL : http://aichiminiren.jp/



一日医師体験・奨学金のお問い合わせ・お申込みは 医学生担当まで